

2019年度 公開講座

経営学のススメ

～ 日常生活にも深く関わる経営学 ～



日程 2019年12月14日（土）

時間 13:30～14:20、14:30～15:20、
15:30～16:20（各50分）

会場 甲南大学 岡本キャンパス 511教室
参加費・資料代：無料（先着順100名まで）

講座スケジュール

第1限 13:30～14:20 北居 明（甲南大学 経営学部 教授）
「原因を探ると問題は悪化する？－解決志向アプローチのススメ－」

第2限 14:30～15:20 伊藤 公一（甲南大学 経営学部 教授）
「監査とは何か、それは信頼できるのか」

第3限 15:30～16:20 山口 聖（甲南大学 経営学部 教授）
「お金を集めるための工夫」

参加申し込み・お問い合わせ：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所

TEL 078-435-2754

住所 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

E-mail bi@ml.konan-u.ac.jp

URL <https://www.konan-u.ac.jp/bi/>



講座概要

第1限 13:30~14:20 **原因を探ると問題は悪化する？ - 解決志向アプローチのススメ -** **北居 明 (甲南大学 経営学部 教授)**

「組織を改善し、人々がいきいきと働くことができる職場を作りたい」というのは、組織に関わる全ての人々の願いであると言えるでしょう。ところが、この願いをかなえるのは簡単ではありません。その大きな理由は、われわれの組織に対する「見方」にあるのではないかと思います。「組織をよくしたい」と考える人々は、これまで組織を問題解決されるべき対象と考える傾向にありました。問題には原因があり、その原因を突き止め、改善すれば組織はもっと良くなると考えられていたのです。しかし、こうした考え方には、別の問題があることがわかってきました。今日は、原因ではなく、強みに注目するという、これまでとは全く異なるアプローチで組織を改善する考え方について説明します。この考え方は、組織だけではなく、あらゆる人間の問題の改善に応用することができます。

第2限 14:30~15:20 **監査とは何か、それは信頼できるのか** **伊藤 公一 (甲南大学 経営学部 教授)**

「監査不信 再び」—これは昨年9月23日付日本経済新聞の1面トップ記事の見出しです。「不信」が「再び」とは穏やかではありませんが、一体何が起きているのでしょうか。気になりますね。でもその前に、おそらく多くの皆さんは、そもそも監査とは何なのかについて、今まで説明を受けたことがないのではないのでしょうか。したがって、「監査」と聞いたところで、興味も関心も持ちようがないかもしれません。しかし実際のところ、「監査」は私達の社会のある重要な仕組みを支えているのです。さて、その「重要な仕組み」とはどのようなものなのでしょうか。この時間は、その答え合わせから始めて、「監査」とは何なのか、なぜ必要で、果たして信頼できるものなのか、といったことについて、皆さんと考えてみようと思います。

第3限 15:30~16:20 **お金を集めるための工夫** **山口 聖 (甲南大学 経営学部 教授)**

会社を経営するには、たくさんのお金が必要になります。最初は両親や親せき、親しい友人から借りることができるかもしれませんが、必要な金額が大きくなれば、面識のない第三者からお金を借りる必要が出てきます。みなさんは面識のない人にお金を貸すことができるのでしょうか？おそらくお金を貸したくないと思う人が多いのではないのでしょうか。このことは、会社はお金を必要としているにもかかわらず、なかなか借りることができないという状況に直面することを意味しています。この講義では、会社がお金を集める方法と、面識のない第三者からお金を借りやすくするための仕組みについてお話しします。

講座の概要につきましては、詳しくはBIホームページをご覧ください（「甲南BI」で検索できます）

参加申し込み・お問い合わせは

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 <https://www.konan-u.ac.jp/bi/>
Tel 078-435-2754 Fax 078-435-2324 e-mail : bi@ml.konan-u.ac.jp

※ 甲南大学の経営学部に合格した高校生は、自動申込みが完了しているため、
ビジネス・イノベーション研究所への個別参加申し込みは不要です。
集合時刻・場所についても別途文書にてお知らせしておりますので、ご注意ください。